



自衛隊栃木地方協力本部

現況調査を受検 常に物品愛護の精神で！！



個人被服の検査の様子

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田1陸尉）は、10月24日（金）現況調査を受検した。現況調査は年に数回実施され、個人被服の管理状況、事務所物品の確認、車両の装備品及び整備状況の検査を行うものである。

前日から補給係を担当する豊田3陸曹（8月から担当）は、制服の員数確認、事務所の物品管理状況の確認を行い、車両係を担当する黒崎3陸曹は、車両の整備及び清掃状況について、各車両の装備品のチェックをして今回の物品管理検査を受検した。二人とも日頃から「事務所の縁の下の力持ち」として、業務を適切に行っており、所員が働きやすい環境を維持してくれている。

検査を終えて、本部管理班長から「今後も現状を維持してください」との講評を得た。

大田原地域事務所は、「今後も所長の指導の下、物品愛護の精神で業務に邁進していく」としている。



車両の検査の様子

たんたん祭2025ではたらく車広報展 ～富田田募集相談員も大活躍～



制服試着を支援する
富田田募集相談員

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 松田1陸尉）は、11月1日（土）高根沢町立東中学校跡地で行われた「たんたん祭2025」において広報展を実施した。

「たんたん祭2025」は、稲刈り後の藁を集めて作った巨大モニュメント「たんたんポッチ」が展示され、夜は火入れと打上花火が楽しめる高根沢町最大の秋祭りである。

当日のはたらく車ブースでは、消防から消防車及び煙体験、警察からパトカー及び白バイ、その他の企業からトラックター、コンクリートミキサー車、建設機械等々、多くの車が展示された。自衛隊は1/2tトラックを展示した。1/2tトラックの鉄板でできた内装に「頑丈にできてますね。かっこいいですね！」と興奮した様子で、多くの来場者が運転席に座ってハンドルを握り写真撮影を行っていた。

イベント中、今年度から高根沢町募集相談員になった富田氏も応援に駆けつけ、制服試着で子どもたちに服を着せたり、写真を撮ったりと、手助けをしていた。また、元町役場の職員ということもあり、多くの知り合いに声をかけ、広報官の強力な加勢となった。また、募集ブースでは、学生が「自衛隊に興味があります！自衛隊のイベントに参加したいです」とアンケートを記入してくるなど、自衛隊に対する理解も得られ、大盛況のうちに終了した。

大田原地域事務所は、「今後も、地域密着型の募集広報で自衛隊の魅力アピールし、理解を深めていく」としている。



1/2tトラックの展示の様子